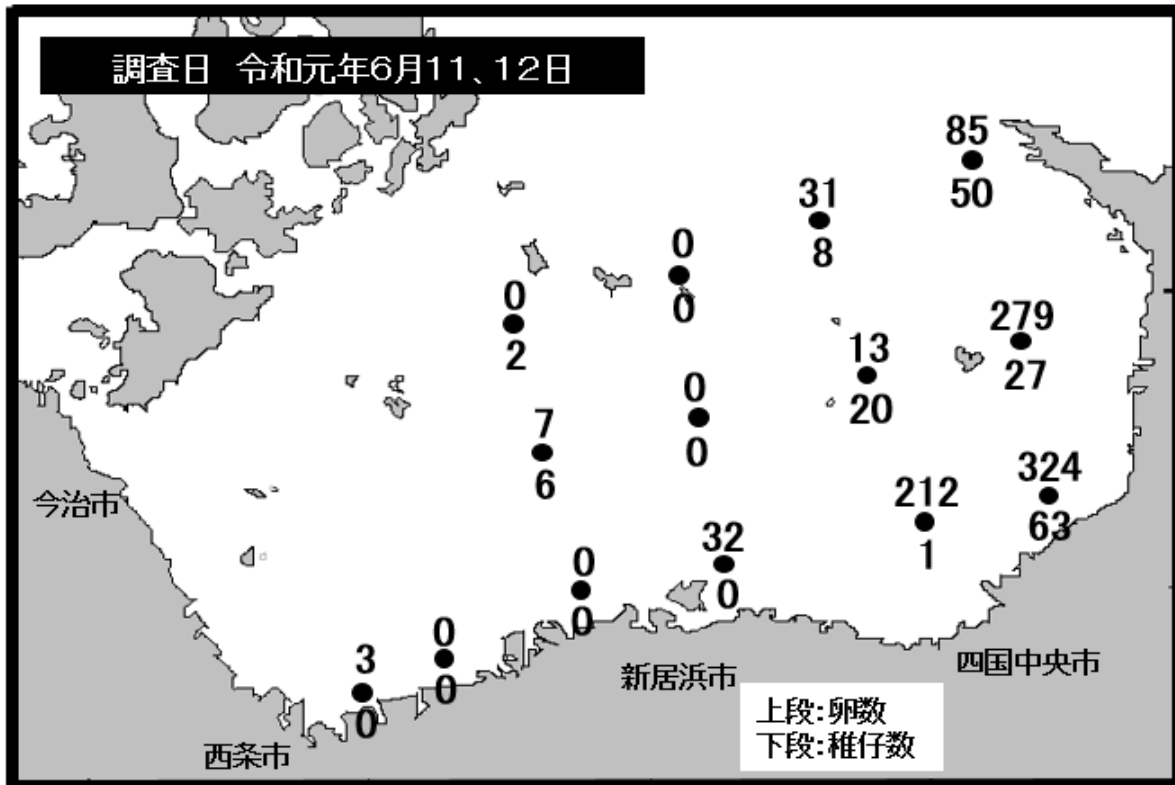


燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査結果速報 (NO. 3)

愛媛県水産研究センター栽培資源研究所

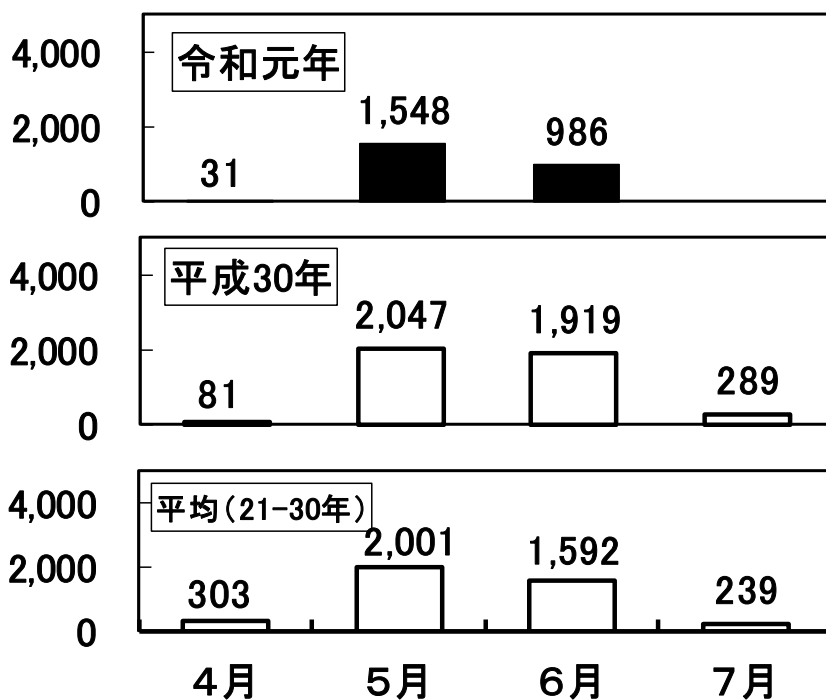


● 調査結果の概要

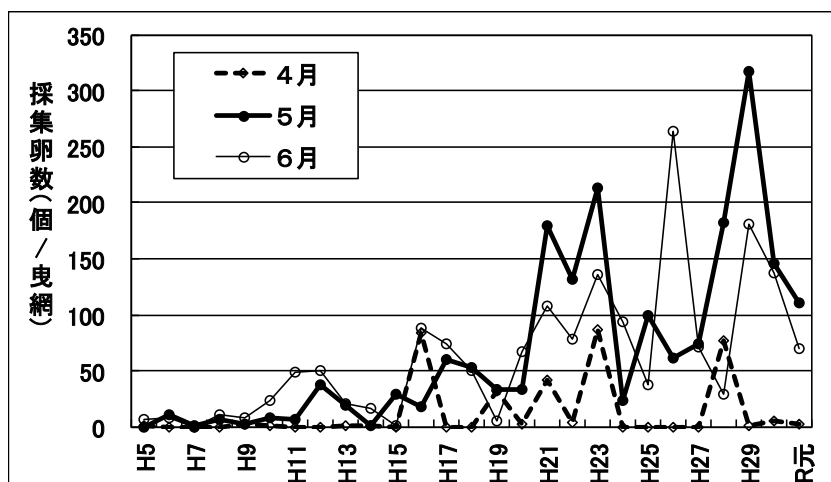
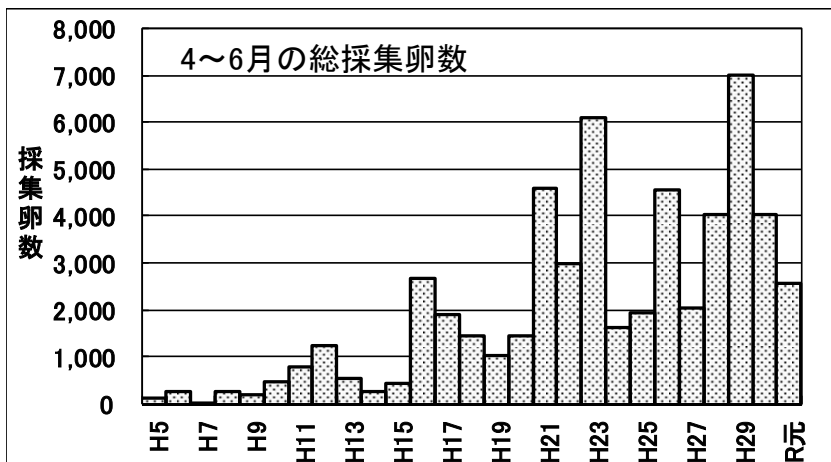
燧灘東部の沿岸域を主体にカタクチイワシ卵が採集されました。

14定点の総採集卵数は986個で、前年(1,919個)、平年(1,592個)を下回りました。

● カタクチイワシ卵の採集数(14定点の総採集卵数)



● カタクチイワシ卵の採集数(14定点の総採集卵数)の経年推移
 平成5年から採集数の推移をみると、近年、卵数は増加傾向となっています。
 総採集数は平成21年から、概ね2千個を上回る数で推移しています。



● カタクチイワシ卵の採集数とカエリ・チリメン取扱量との関係
 平成16年から30年までの卵の採集数(4~6月合計値)と、チリメンカエリ取扱量との関係を見ると、正の相関は見られませんでした。
 近年は、卵の多寡が必ずしもチリメンカエリの取扱量に結び付いていないと考えられます。
 今後は、こうした要因等について、調査・解明を進めます。

